

新規事業採択時評価結果（平成18年度新規事業箇所）

担当課：北海道開発局都市住宅課
担当課長名：小町谷 信彦

事業の概要

事業名	あさひまちどおり 旭町通	事業区分	街路	事業主体	北海道
起終点	あさひかわしあさひまち 自：北海道旭川市旭町2条19丁目 至：北海道旭川市旭町2条10丁目		延長	1.2 Km	
事業概要					
当路線は国道12号と国道40号を連絡し、また北海道縦貫自動車旭川鷹栖ICより、市内中心部に連絡する都市内の幹線街路である。現道幅員が狭小な未整備区間の拡幅を行い都市内の円滑な交通確保を図る。					
事業の目的、必要性					
当路線のうち、国道40号交点から一部区間において完成供用しているが、車道幅員が狭小な未整備区間において慢性的な交通渋滞が発生している。また、沿道周辺は教育施設が点在しており、通学路であるにもかかわらず歩道幅員が狭小である。当整備により、円滑な都市内交通及び安全な歩道空間の確保を図る。					
全体事業費	74億円		計画交通量	16,600台/日	
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見	当整備により当路線の交通混雑の緩和はもとより、市内中心部との交通を円滑に誘導し、早期整備が必要である。また、旭川市都市計画マスタープランにおいて、幹線道路に位置づけられ、整備の緊急性は高い。
----------------	---

事業採択の前提条件	便益が費用を上回っている。 都市計画決定済。 円滑な事業執行の環境が整っている。
-----------	--

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.7	総費用：63億円 （事業費：62億円 維持管理費：1億円）	総便益：110億円 （走行時間短縮便益：98億円 走行費用減少便益：10億円 交通事故減少便益：2億円）	基準年 平成17年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.9 (交通量 +10%)	B/C=1.6 (交通量 -10%)		
		事業費変動	B/C=1.6 (事業費 +10%)	B/C=1.9 (事業費 -10%)		
		事業期間変動	B/C=1.7 (事業期間 +20%)	B/C=1.8 (事業期間 -20%)		
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車歩行者への影響	渋滞対策	○	北海道内センサス区間の上位2割に含まれる区間の渋滞を解消する。 渋滞損失時間の改善 210万人時/年⇒205万人時/年（5万人時/年削減される） 渋滞度曲線 北海道内センサス区間で、上位2割の渋滞損失時間の区間を解消		
		事故対策	—	注目すべき影響は無い。		
		歩行空間	○	■歩行者・自動車の安全性向上 ・当事業区間は、通学路であり、歩行者交通量144人/12hr、交通量自転車交通量759台/12hrの区間の歩道幅員 2.75m→3.5m		
	社会全体への影響	住民生活	—	注目すべき影響は無い。		
		地域経済	○	■都市計画道路密度の向上 ・DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する。		
		災害	—	注目すべき影響は無い。		
		環境	○	■CO2排出量の削減 ・CO2排出削減量：1,563t/年		
地域社会		—	注目すべき影響は無い。			
事業実施環境	○	■道路の整備に関するプログラム等への位置づけ 都市計画マスタープランにおいて位置づけあり				

採択の理由

費用便益比が1.7と、便益が費用を上回っているとともに、都市計画手続きが完了していることから、事業の採択の前提条件が確認できる。
また、当事業箇所の渋滞損失時間の改善や歩行者や自転車の安全性の向上など、自動車や歩行者への影響が大きく、事業の必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額と割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。